

様式5 - 2

議 案 の 提 出（その2）

発議第 8 号

誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウ
イルス感染症の克服を目指す決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

令和 2 年 12 月 14 日

提出者	米沢市議会議員	堤 郁 雄
賛成者	//	中 村 圭 介
	//	山 村 明
	//	佐 藤 弘 司
	//	
	//	
	//	
	//	
	//	

米沢市議会議長 様

誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議（案）

新型コロナウイルス感染症は全国的に急速な拡大が進んでおり、本県においても11月から感染者が急増しています。本市においても山形県内で初の感染者が出て以来、感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動との両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の中、感染者やその家族、学校や勤務先等に対して、SNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは、憂慮すべきことであると考えます。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、米沢市民が培ってきた「やさしさ」や「互助の精神」という美しい文化を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルスは、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者への誹謗中傷ではありません。医療・福祉従事者をはじめ多くの方々が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人一人が、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

よって、本市議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症関連の諸課題に真摯に取り組んでまいります。市民の皆様におかれましても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えていきましょう。

以上、決議する。

令和2年12月17日

米沢市議会